

令和7年度第1回紫波町中小企業振興会議 議事録

1 会議概要

- (1) 日 時 令和7年9月29日(月) 9時から10時30分
- (2) 場 所 紫波町役場 304・305 会議室
- (3) 出席者等 出席委員9人
高嶋裕一委員、富岡靖博委員、安藤知行委員、篠村講太委員、
鈴木弘幸委員、瀬川峰雄委員、熊谷智義委員、瀧澤義則委員、
川村武司委員
欠席委員1人
箱崎浩行委員
事務局
紫波町 産業部長(商工観光課長) 長谷川崇
紫波町 商工観光課副課長 作山文人
紫波町 商工観光課商工観光係長 須川翔太
紫波町 商工観光課商工観光係主任 高橋侑真
紫波町 地域おこし協力隊 本田道也
- (4) 経 過
委嘱状交付
- 1 開 会
 - 2 委員紹介
 - 3 会長・副会長選任
 - 4 議 事
(1) 中小企業振興会議の進め方について【資料1】
(2) アンケート結果について【資料2】
 - 5 そ の 他
次回開催日：令和8年2月19日(木) 10時から11時30分
紫波町役場 304・305 会議室
 - 6 閉 会

2 内容等

委嘱状の交付（熊谷町長より）

町長挨拶（熊谷町長）

委嘱状を受けていただきありがとうございます。4月1日に振興条例を制定しましたが、中身を埋めていくのはこれからになるので、よろしくをお願いします。

開会あいさつ（長谷川産業部長）

全国各地で作られている中小企業振興条例が遅ればせながら紫波町でも策定に至りました。この条例に基づき、町内の中小企業の発展に向けて条例がどうあるべきかの議論を進めていきたいと思っています。

会長・副会長選任（作山副課長）

条例第13条により、委員の方の互選により定めることとなっております。選出方法はどのようにいたしますか。無い場合には事務局に一任いただければと思います。

事務局一任とのご意見をいただきましたので、事務局から提案させていただきます。会長を高嶋委員、副会長を富岡委員にお願いしたいと思います。ここからの議事の進行は高嶋会長にお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

中小企業振興会議の進め方について（作山副課長）

資料1について説明

アンケート調査結果について（高橋）

資料2について説明

高嶋会長

本日の会議にて、今後どのようなことを行っていくのか、皆様からの意見を共有してほしいと思います。

熊谷委員

どんなことを行うか検討するに当たって、既存事業についての洗い出しが必要だと思います。これまでの取り組みや実績を振り返ってから、今回の条例に基づき、これまでの取り組みを補ったり、充実化を図ったりすることが大事だと思います。

産業センサス平成 28 年の資料が手元にあり、町の事業者数を見ると、今回のアンケートはサンプル数が少なく、また調査結果と実際の業種比率の実態は異なる気がします。そこで、事業者に対するヒアリング調査が必要だと思います。町が条例を作り、コミットすると決めたからには、事業者との接点をしっかり設けたうえで取り組んでほしいです。

高嶋会長

今出た意見をまとめますと、町内事業者の強みや弱みなど既存の町内事業者の実態把握、窓口となる商工会と町との関係やヒアリングという共同事業を通して、どれだけ密にやっていけるかという提案と解釈ということでしょうか。このことについて、事務局の見解をお聞かせください。

事務局

紫波町の強みと弱みという部分に関してはたくさんあると思っています。オガールとの公民連携や東西の農業の産地が強み、弱みに関しては企業誘致などの本格的な活動や地域経済への活性化への仕掛けが弱いと認識しています。

高嶋会長

公民連携の実績はあるという印象が強いですね。土地はあるが、明確な産業用地・商業用地がない。戦略にかけるところでしょうか。

熊谷委員

町の強みとして数値で示すものはあるでしょうか。まち・ひと・しごと総合戦略や紫波町総合計画など、今回の条例と同様の町の取り組みがあると思われます。

条例による施策を推進する前に、それらの取り組みの成果や結果が見えていないと、本条例で取り組むべき内容が不透明に感じます。

瀬川委員

そもそも幹事会の立ち位置や意味が明確ではないと思います。

事務局

幹事会のあり方に関しても皆さんからのご意見をいただきたいです。現在のイメージとしては、実務実績のある方を対象として、幹事長等を選定していきたいというイメージでした。

高嶋会長

今はイメージということなので、本日の会議で詰めるべきではないでしょうか。

事務局

商工会、商店会の役職を持っている方から推薦をいただいた方を対象として、その他に関しては一度商工観光課内で協議をし、進めていきたいと考えております。

高嶋会長

その他、ご意見はございますでしょうか。

熊谷委員

悉皆調査とまでは言わなくても、業種別、団体別でニーズは異なるので、もう少し実態調査を行う必要があると思います。この条例は、町が町内事業者の振興のために取り組むという宣言なので、役場内の各部署が連携して本気で取り組み、町長が変わったとしても、継続的に取り組むという意思表示になる。手間のかかることは理解しているが、条例というのはそういうことなので、しっかり取り組んでほしいです。

そして、この宣言に対して、スピード感が重要と思います。調査結果をふまえ、行政としてしっかり支援するんだというところを、今年度からやってほしいと思います。

鈴木委員

商店会の組織として、事業者としての組織として、組織の中で話し合いをして、その情報を共有するというのは事業者として問題ないので、役場側がそのアクションに対してしっかり答える姿勢を見せてほしいと思います。

瀬川委員

団体を抱えているメンバーはぜひ協力して進めてほしいです。団体を抱えていない、団体に所属していたい人たちはどうしたらよいでしょうか。

高嶋会長

団体・組織に属していないのは私と熊谷さんのみかと思いますので、どこかに入れていただければと思います。

川村委員

Y町はできちゃった条例であり、地域の振興につながらないものが多かった印象があり

ます。Y町では、若い経営者のサポート事業や新規事業創出など、各課題に対する勉強会などのアクションや相談窓口が設けられたりしています。産業振興は一社一社の意識を変えることも重要なポイントになるので、勉強会などの機会は必要となると思います。他の地域での成功事例を理解し、それに倣い、高校生に対する地元就職のサポートなども進めていくべきではないかと思います。

高嶋会長

できちゃった条例という話があり、年度内から色々進めていくべきということでしたが、事務局としての見解はいかがですか。

事務局

役場としてはできていないという実態がありました。やっても形式的なものが多く、職員自ら出向いて何かをするというのはこれまでできてこなかったと思います。この条例を策定する前に自分たちで出向いてヒアリングするというアクションは行ってきました。

高嶋会長

前向きに検討するという解釈をいたしました。まずは、しっかりと実態を直視し、どういう形で着手していくか相談したいと思います。まず、一回目の勉強会を開くとした場合に、どのようなものが良いでしょうか。

熊谷委員

参考事例として、遠野商工会では秋のタイミングで経営革新事業者や小規模事業者持続化補助金採択事業者の発表会を行っています。経営者が、どのような計画を作って実施したかをプレゼン資料にまとめて発表するもので、来場者は商工会の会員や市役所や関係機関の職員などです。身近な事業者の計画を共有することで、自分たちの計画を見直す機会、考える契機となっています。

高嶋会長

事業計画発表会はどうでしょうか。商工会ではそのような取り組みを行っていますでしょうか。

富岡副会長

商工会が取り組む領域と行政が取り組む領域は異なると思っていますし、スピード感も異なります。議論だけやっても意味がないので、何をやるにせよ、具体的に明確な目的を

持って取り組むべきだと思います。年に1、2回の会議だけで商工会の計画を変更することはできないので、商工会と行政の取り組みの領域はしっかり区別し取り組むべきだと思います。

高嶋会長

すぐできることと、未来に向けてできることを区別すべきということでした、現在、商工会と町のやり取りはいかがでしょうか。

事務局

毎月、定例で情報共有のため打合せを行っています。10月にもあるので、今後の取り組みについて話し合いを行いたいと思います。

高嶋会長

会議の方向のみだと「そうでしたか」だけで終わってしまうので、事業発表会をしたらどうするかなど具体的なところをまとめて話をしてほしいです。

富岡副会長

来年度に向けた人材確保は時期的にも早急にやらないといけない。日詰に経営意欲を持っている若者がいるので、その人たちの支援や育成にも商工会として取り組んでいきたいと思っています。先月矢巾と紫波で開催した就職マッチングイベントも好評でしたので、これを参考に地元の高校生とのマッチングイベントなどをこれから行いたいと思っています。

瀬川委員

中小企業振興というのは元々国政から始まり、それが岩手にも来て各市町に条例ができてきてはいるが、実態があまり知られていない場合が多いです。長期的な戦略として議員さんを入れたり、民間の人を入れてワークショップをするなど町民の認知拡大につながるアクションがあるべきで、高校生向けの軽めのイベントや勉強会などをやっていくべきだと思います。

高嶋会長

条例をしっかり稼働させるという意味を考えた場合、自分たちとしてはその時間を設けコミットできるのでしょうか。様々な話を聞いて、私自身はイメージが具体化できました。まずは、年内に何かしら着手して、うまくいけば継続し稼働につなげていく。という

形でいかがでしょうか。

事務局

検討いたします。予算の伴わない企業訪問は年度内にはやれます。予算が伴う活動に関してはこれから予算編成を見ながら進めていきたいと思えます。

熊谷委員

令和6年度の情報にはなるが、経産省からの条例のある市町村に対しての補助金（自治体連携型補助金）があり、これを使って、小規模事業者に対する就職支援を町が主催で行うことなどができる。この補助事業は、条例がないと対象にならないので、この際、補助金の活用も視野に入れてみてはどうでしょうか。このような選択肢で取り組むためにも、本会議冒頭に話した実態の理解を深めるということが重要になってくると思えます。

近くでは、過去に、滝沢市商工会が市の職員とヒアリングをするなど行っていると聞いています。実現が難しい話ではないと思うので、しっかり取り組んでほしいです。

高嶋会長

いくつか具体的な提案が上がったと思えます。他に意見はありますか。考えるべきことが多数上がったと思えます。今日の話の内容だと、スケジュールを修正する必要があるのではないかとと思えますが2月の会議までの時間に何かできないでしょうか。

事務局

メールでのやり取りで進めていきたいです。

高嶋先生

メールでのやり取りを進めながら、委員が関係団体から意見を集約できないでしょうか。

瀬川委員

具体的に、町からメールがくる、それを委員が意見を集約するというのでしょうか。

事務局

アンケートの母数が少ないという話も理解しましたが、事務局としては人材確保・育成に関しては以前から重要課題と思っています。

高嶋会長

では2月までの間に事務局と委員のやり取りで進めていくとのことをお願いします。

富岡副会長

産業部長の言うとおり、人材問題に関しては各々が色々な知恵を出し合い取り組むべきと考えます。長期的視野の話をする、地元で紫波総合高校があり、進学率が低迷していると聞いています。このタイミングで地元就職という選択肢、受け皿を広げたいと考えています。

高嶋会長

幹事会に紫波総合高校の関係者を入れるのはいかがですか。

事務局

打診してみます。

高嶋会長

時間なので、他にも何か意見がある方は事務局へお願いします。

事務局

今回は2月で、場所は同じ会議室です。

やり取りに関しては迅速に進めるためメールで行います。文書関係は郵送になると思います。